

7 プラネタリウム

(1) プラネタリウムの構成

・プラネタリウムドーム 直径 16m ・座席数 180 席 ・プラネタリウム機器 - 光学投映機（五藤光学 CHRONOS II） - デジタル式投映機（五藤光学 VIRTUARIUM II） ・音響装置 ・コントロールコンソール ・補聴装置（磁気誘導ループ方式）	
---	--

(2) 各種投映

ア 一般投映番組

前半に星空解説、後半にオート番組の 2 部構成で投映を行った。星空解説部分については、職員による生解説で投映当夜の星空を紹介した。

投映番組名	番組内容（投映期間）
宇宙のオアシスを探して ー 奇跡の星への旅 ー Music by 葉加瀬太郎 	豊かな水や緑に恵まれた惑星、地球。その地球のように、水や緑に包まれ、生命をはぐくむことのできるオアシスのような惑星はあるのか。今、太陽系以外に地球のような惑星を探す、系外惑星探査が注目されている。系外惑星探査の現状と奇跡の星・地球の美しさを葉加瀬太郎氏の壮大な曲に載せて紹介する番組。 日 時 2025 年 3 月 25 日（火）～7 月 11 日（金） 12 月 2 日（火）～3 月 22 日（日）
名探偵コナン 灼熱の銀河鉄道  ◎青山剛昌／小学館・読売テレビ・TMS 1996	宮沢賢治の世界を再現したテーマパーク、イーハトーブワールドの銀河鉄道列車に乗ることになったコナンたち少年探偵団と蘭、園子。幻想的な星空の世界を満喫していると突然、キッドからの予告状が届く。繰り広げられる、キッドとのお宝争奪戦！しかしそこには思いもしない罠が…。当館でも大人気となった番組。 日 時 2025 年 7 月 12 日（土）～9 月 15 日（月） 9 月 18 日（木）～2026 年 7 月 11 日（土） （土・日・祝日のみ投映）

新・恐竜大進撃 	私たちが住むこの日本にも恐竜たちの王国があった。日本の恐竜史上最大級の丹波竜。その大きさは全長10数メートルにも。丹波竜はのんびり動かない超スローライフを送っていたことが判明した。弱肉強食の恐竜世界で、どうやってスローライフを実現させたのか？さらに最新の研究によってティラノサウルスの謎が明らかになってきた。 恐竜の誕生から繁栄、絶滅まで、子どもたちに楽しく、わかりやすく紹介する全天周番組 日 時 9月18日(木)～11月30日(日)
ゲゲゲの鬼太郎 河童のテラフォーミング  ©水木プロ・東映アニメーション	ある日、ねずみ男は JAXA 職員の山本に出会う。山本は火星のテラフォーミング（地球のように生物が住める環境にする計画）実現のため、河童の宇宙飛行士誕生を目指していた。金儲けの匂いを感じたねずみ男は「妖怪で初めて火星に行けば、女の子にモテモテだぜ！」と河童のカー助を勧誘し、JAXAを訪れるのだが…。 人間×妖怪×宇宙！異色のコラボでの番組 日 時 12月2日(火)～3月22日(日)
タッチ・ザ・スター  ©AfterglowStudio, Inc	過去 60 年間、人類はボイジャーやパイオニアといったさまざまな探査機を太陽系やその先に送ってきた。 太陽系の惑星や衛星の知られざる姿を捉えてきた数々の探査機たち。今後の宇宙開発により人類にはどんな未来が訪れるのか…？ この番組では、惑星探査の歴史をたどりながら太陽系をめぐるツアーへと観客を案内する番組。 日 時 3月24日(火)～(次年度継続)

イ ファミリーアワー

幼児から小学校低学年やその家族を対象に、プラネタリウムに親しんでもらう最初のお会として毎週土曜・日曜、祝日及び学校の長期休業中に実施。

全体の放映時間は 40 分間。前半は当夜の星空を分かりやすく紹介、後半の番組内では歌や掛け声を交え、参加しながら楽しめる内容。【全 115 回】

放映番組名	番組内容（放映期間）
こぐま座のティオ 12 星座のなかまたち 	ここは夜空の星座たちが集うせいざ村。ティオは、この村で暮らす元気なこぐま座の男の子。ティオと 12 星座たちが、せいざ村のシンボル「リトルスター」の奏でる美しい音楽に耳を傾けていると、なんと空から UFO の群れがやってきてリトルスターと衝突！ バラバラに砕けてしまったリトルスターのかげらは様々な世界に飛んで行ってしまふ。ティオと 12 星座たちは手分けしてリトルスターのかげらを探すことになった。ティオと個性豊かな 12 星座の仲間たちが冒険に出かけるストーリー。 日 時 2024 年 7 月 13 日(土)～7 月 11 日(土)

しまじろうとたんじょう びのおほしさま  ©Benesse Corporation / し まじろう	ドキドキ森に天体観測に来たしまじろう、みみりん、とりっ ぴい、にゃっさい。すると空から何かが地球へと落ちてきた。 その正体はなんと彗星！名前はコメット。さっそくコメット と友だちになったしまじろうたちは、一緒に星空の大冒険へ。 大迫力のドーム映像で、歌や掛け声と一緒に参加できる番組。 日 時 7月12日（土）～2026年7月11日（土）
---	--

ウ 学習投映

小中学校の理科・天体学習の理解を深めるため、学校団体向けの投映を行うもの。当夜の星空を中心に、星座、惑星、太陽・月・星の動きなどを生解説し、学年に合わせたテーマ番組の投映を行った。また、熊本市立小学校は5年生時に集団宿泊教室を行うことから、目的地に向かう前に当館を訪れてもらい、その際にプラネタリウム投映を行っている。宿泊教室以外の「学校行事等」での利用にも応じている。各種番組の内容は以下のとおり。

学習投映番組一覧

【むしむし星空大行進】 (小学校1・2・3年生向け)	星座神話にちなんだ名前の昆虫たちをとおして、星や生物に親しむ内容で、四季の星座や太陽系の天体、南半球の星座などを紹介。(投映回数10回)
【スタジオ444～空のフシギをさぐれ！～】 (小学校4年生向け)	教科書での学習内容に合わせ、月の見え方や星の明るさ、色の違い、時刻による見え方の違いなどを説明。(投映回数3回)
【星が見てきたKUMAMOTO】 (小学校5年生向け)	熊本市立小学校5年生時に行われる「集団宿泊教室」の事前学習として、宇宙の誕生から現在の熊本に至るまでの歴史を紹介。熊本における自然科学(天文学)についてもふれる内容。(投映回数49回)
【ポワンとフーニャンの宇宙調査隊～月と太陽のひみつ～】 (小学校6年生向け)	教科書での学習内容に合わせ、月の見え方と太陽・月の位置関係、月と太陽の表面の様子の違いなどを説明。(投映回数2回)
【この空に願いをこめて…】 (中学生向け)	教科書での学習内容に合わせ、日周運動、年周運動、月の公転と満ち欠け、太陽系の天体、銀河系、宇宙の構造などについて説明。(投映回数3回)

エ 幼児団体向け投映

幼稚園や保育園などの幼児団体向けの投映を行うもの。投映時間は40分間で、星空の紹介(生解説)と幼児向け番組の2部構成。内容は、前述のファミリーアワーと同様である。【投映37回】

七夕特別投映 6月17日（火）～7月4日（金） 観覧者 2,695人（103団体）	七夕をテーマに特別に構成した幼児団体投映を行った。投映内容は、七夕の星空解説と「七夕物語」の上映に加えて、幼児番組「こぐま座のティオ」を含めた40分間。
---	--

オ 字幕付きプラネタリウム

プラネタリウムの投映は映像と音声で構成されており、聴覚に障がいがある人にとっては、通常の投映では内容が十分に伝わらない面がある。そこで、聴覚に障がいがある人

も一緒にプラネタリウムを楽しむことができるよう、字幕付きプラネタリウムを実施した。字幕については、熊本県聴覚障害者情報提供センター、パソコン文字通訳グループ“らん”の皆さまにご協力をいただいた。

第 56 回字幕付きプラネタリウム 【名探偵コナン ～灼熱の銀河鉄道～】 	日 時 9 月 27 日 (土) ① 12 : 15～ ② 13 : 30～ 観覧者 ① 61 人 ② 44 人
第 57 回字幕付きプラネタリウム 【宇宙のオアシスを探して 奇跡の星への旅】 	日 時 3 月 21 日 (土) ① 12 : 15～ ② 13 : 30～ 観覧者 ① 31 人 ② 23 人

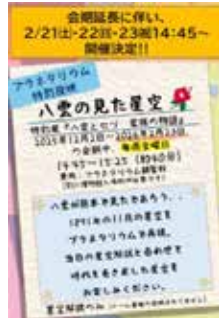
カ 特別投映

はじめてのわくわく プラネタリウム ① 5 月 30 日 (金) ② 5 月 31 日 (土) ③ 6 月 1 日 (日) 	熊本博物館と熊本市こども局主催の特別プログラム。赤ちゃん連れの方やプラネタリウムを視聴したくとも遠慮している方々へ、少し短い 30 分間、出入りも自由で、気軽に参加してもらえるように企画したプログラム。 【観覧者】 ①77 人 ②184 人 (満席) ③169 人 (満席)
七夕限定ファミリーアワー ① 6 月 21 日 (土) ② 6 月 22 日 (日) ③ 6 月 28 日 (土) ④ 6 月 29 日 (日) ⑤ 7 月 5 日 (土) ⑥ 7 月 6 日 (日)	団体向けに平日行っていた「七夕特別投映」を一般のお客様向けにアレンジしたプログラム。今年度から 12 時 15 分の回も追加し、一日に 2 回実施。プラネタリウム前の七夕の短冊コーナーでは笹がいっぱいになるほど子供たちが願い事を書いてくれた。 【観覧者】 11 時 ①60 人②104 人③76 人④88 人⑤77 人 ⑥148 人 12 時 15 分 ①49 人②74 人③35 人④79 人 ⑤15 人⑥94 人
熟睡プラ寝たリウム 11 月 23 日 (日・祝) 15:00～16:00 	全国一斉「熟睡プラ寝たリウム」の開催に合わせ、気持ちよく眠っていただくため、高校生以上対象の大人向けプログラムの投映を行った。 【観覧者】 141 人 (満席)

八雲の見た星空

12月5日（金）～2月23日（月・祝）

14：45～



当館特別展「八雲とセツ 家族の物語」に合わせて、八雲が熊本で見たであろう1981年11月の星空をプラネタリウムで再現。民俗学担当学芸員と協働し、小泉八雲とセツのエピソードを入れながら星空解説を行った。

12/5	26人	12/12	41人	12/19	49人
12/26	27人	1/9	52人	1/16	57人
1/23	67人	1/30	78人	2/6	85人
2/13	66人	2/20	41人	2/21	63人
2/22	72人	2/23	64人	計 786人	